

資料 2

各委員からの質問事項への回答

目 次

小口委員長抽出案件

1	小平市立学校施設清掃等業務委託について	・・・ 1
2	天神町四丁目31～35番先雨水管渠築造工事について	・・・ 1
3	小平市立小平第十小学校大規模改修工事（建築工事）について	・・・ 2
4	小平市道第C-48号線外道路補修工事について	・・・ 2
5	小平市立小平第三小学校校庭拡張に伴う外構整備工事について	・・・ 3
6	マンホール蓋取替等修繕工事（単価契約）について	・・・ 3
7	小平市職員等定期健康診断等及び胃・大腸がん検診業務委託について	・・・ 4
8	小平市子ども広場事業業務委託について	・・・ 6
9	選挙投票管理システム機器購入について	・・・ 6
10	敬老のお祝い商品券購入（88歳、100歳への敬老のお祝い）について	・・・ 7
11	災害救助用毛布購入について	・・・ 7

池畑副委員長抽出案件

1	小平市立小平第十小学校大規模改修工事（建築工事）について	・・・ 8
2	小平市立小平第五小学校他2校屋内運動場スロープ設置工事について	・・・ 8
3	小平市立小平第三小学校校庭拡張に伴う外構整備工事について	・・・ 9
4	小平市立小・中学校中継警備業務委託について	・・・ 9
5	小平市立公園便所清掃業務委託について	・・・ 10
6	小平市子ども広場事業業務委託について	・・・ 10
7	敬老のお祝い商品券購入（88歳、100歳への敬老のお祝い）について	・・・ 11
8	証明書自動交付機賃貸借について	・・・ 11

木内委員抽出案件

1	小平市立学校施設清掃等業務委託について	・・・ 12
2	天神町四丁目31～35番先雨水管渠築造工事について	・・・ 12
3	小平市立小平第十小学校大規模改修工事（建築工事）について	・・・ 13
4	小平市道第C-48号線外道路補修工事について	・・・ 13
5	小平市立小平第三小学校校庭拡張に伴う外構整備工事について	・・・ 13
6	小平市立小平第五小学校他2校屋内運動場スロープ設置工事について	・・・ 13
7	小平市立上宿小学童クラブ第二新築工事について	・・・ 14
8	小平市立小・中学校中継警備業務委託について	・・・ 14
9	小平市立小平第二小学校給食調理業務委託について	・・・ 14
10	災害救助用毛布購入について	・・・ 15

質問事項への回答について(小口委員長)

1 小平市立学校施設清掃等業務委託について

(1) 本契約は、清掃、造園、ごみ回収・運搬、整理整頓、戸締り、水道メーター、暖房、グラウンド整備、小動物の駆除など、各小中学校の施設の維持・管理に関する業務を一括して処理する契約と捉えてよいか。

これまで、これだけ多義にわたる業務を契約していて、業務実施上の課題や問題点は発生していなかったのか。

(回答)

前段について、本契約は、施設の維持・管理に関する業務を、全てではありませんが、一括して委託する契約となっております。

本契約の内容は多義に渡るものの、作業内容は個別的・限定的で、複雑・高度なものは含んでおりません。このため、多義であることを理由として問題は発生していないところです。

(2) 契約業務に係わる人員は、全校で何人確保しているのか。また、技術職員の職種と人数を定めた仕様書は作成しているのか。

(回答)

現在の委託事業者における人員体制は、責任者1名、修理専門巡回用務員1名、常駐する用務員27名、応援・代勤用の用務員約30名となっております。

技術職員の職種については定めておりませんが、修理専門巡回用務員の業務内容にコンセントの修理が含まれておりますので、巡回用務員については電気工事士の資格が必要となります。

2 天神町四丁目31～35番先雨水管渠築造工事について

(1) 一位の事業者と三位の事業者の技術点に相当の開きがあるようだが、どの部分の加点が開いているのか。

(回答)

「企業の施工能力」の工事成績、工事实績、「地域密着度」の市民雇用率の部分等で点差がついております。

(2) 今までこの地域の道路冠水はなかったのか。また、本市の下流域である石神井川の洪水は聞いているのか。

(回答)

この地域の道路冠水については、平成3年9月19日の台風18号によるものと、平成4年7月15日の集中豪雨によるものを確認しておりますが、それ以

降はございません。

また、この地域の雨水排水先となっている石神井川については、過去に浸水被害が発生しており、平成10年以降に発生した主要水害としては、平成17年9月4日の集中豪雨や、平成22年7月7日集中豪雨による床上・床下浸水などがあることを、東京都の資料より確認しております。

なお、小平市内については、石神井川の最上流部ということもあり、浸水被害はこれまで確認されていません。

3 小平市立小平第十小学校大規模改修工事(建築工事)について

(1) 洋式トイレは設置するのか。

(回答)

本工事で設置する大便器は全て洋式となります。

(2) 契約変更の理由で述べられている現状が当初の設計と異なっているとは、 どういうところか。

(回答)

エレベーターの地下ピットを新設する際、ピットの壁と既存の建物とを一体化するため、既存の床及び壁のコンクリート部分のみを撤去し、既存の鉄筋と新たなピットの壁の鉄筋を接続する計画でしたが、既存の鉄筋が想定する位置になかった為、既存の位置に合わせた接続方法に変更したものでございます。

4 小平市道第C-48号線外道路補修工事について

(1) 社会貢献や地域貢献など技術点の低い市内事業者への指導は行っている のか。

(回答)

市内事業者への指導は行っておりませんが、毎年定期的に市内事業者と総合評価方式の評価項目等について意見交換を行っております。

(2) 一般に年度末になると街路関係の工事が多い。小平市では、年度末に重 ならないよう事業者指導を行なっているのか。

(回答)

工事の早期発注、工事時期(繁忙期)・発注時期の平準化に努めています。

5 小平市立小平第三小学校校庭拡張に伴う外構整備工事について

(1) 市内の事業者で入札に参加しながら理由なく辞退した事業者への対応は、今後検討していかなければならないのではないか。

(回答)

当該工事については、技術評価資料の提出はあったものの、特に理由がなく辞退した事業者が2者、技術評価資料の提出もなく、都合により辞退した事業者が1者となっております。辞退に関しては、電子入札システム上、理由の記載(入力)がなくとも行えますが、今後、案件により辞退理由を開札後に聞き取る等検討していきます。

6 マンホール蓋取替等修繕工事(単価契約)について

(1) 小平市のマンホールデザインのコピーを提出してほしい。また、何種類あるのか。

(回答)

マンホールのデザイン蓋は3種類あります。

(2) マンホール蓋は、小平市内で年間どのくらい破損するのか。また、破損した蓋の処理はどのように行っているのか。

(回答)

マンホール蓋の破損はございません。経年劣化による蓋表面の摩耗による取替は、平成28年度は146箇所あります。取替えた蓋は、再資源化施設に搬出しております。

(3) 今まで単価契約を提出している事業者は、市内の16者だけか。また、蓋のデザイン事業者はどこに発注しているのか。

(回答)

平成29年度より単価契約を実施しており、市内16者と契約をしています。デザイン蓋については、市民公募により決定しています。

(4) 蓋は、一般に売却しているのか。売却している場合の価格はどの程度か。

(回答)

一般の方には、売却しておりません。

(5) 16事業者の業務依頼は、どのようにおこなっているのか。

(回答)

業務依頼は、指示書を交付しています。

7 小平市職員等定期健康診断等及び胃・大腸がん検診業務委託について

(1) 胃・大腸がん検診は、二次検診で内視鏡検査も行っており、十分な体制といえる。そのうえ前立腺腫瘍マーカー・喀痰細胞診などの検査は充実している。そこで、職員の一次検診の受診率は何%か。また、そのうち二次検診を受診する対象者は何%か。

(回答)

平成29年度に職員課で実施した胃・大腸がん検診について、1月31日現在、一次検診の受診率は、胃がん検診が19.4%、大腸がん検診が29.1%、二次検診の対象となった率は、胃がん検診が0%、大腸がん検診が1.5%となっています。

胃・大腸がん検診は、共済組合が実施する人間ドックを利用して受ける職員も多く、それも含めると、受診率は、胃がん検診が64.9%、大腸がん検診が69.6%です。

(2) 入札に3者しか申し込みはなかったのか。

(回答)

予定価格に応じて3者指名による見積り合わせを行いました。

(3) 健康診断の結果通知と職員のプライバシーの取り扱いはどのようなことに気をつけて進めているのか。

(回答)

健診データは厳密な個人情報であるため、取扱い等については特記仕様書に定め、かつ、取り扱うデータ内容や取扱い方法を覚書に具体的に定めて、委託医療機関と取り交わしています。

結果通知は、健診データが外から見えないように、結果用紙を個別の封筒に厳封して返却しています。

(4) アスベスト検診を実施しているが、平成18年度の労働安全法施行令の石綿0.1重量%超の製品の全面禁止をクリアしていない施設が現在もあるのか。

(回答)

アスベスト検診は、水道工事で石綿管を扱う可能性のある業務に従事した職員、具体的には、水道工事を東京都から受託した昭和48年度から、石綿管の使用を廃止した平成15年度までの間に土木・建築に関する業務に従事したことのある退職者を対象に実施しています。

なお、在職する職員については、アスベスト検診を定期健康診断の胸部レントゲン検査で兼ねてよいという産業医の意見を踏まえて、定期健康診断結果で確認しています。

現在は石綿含有製品（石綿及び石綿をその重量の0.1%を超えて含有するすべてのもの）の製造、輸入、譲渡、提供、使用が禁止されていますが、過去に使用された石綿の大部分は建築材料として建築物や工作物などに使用されています。

石綿を含有する建築材料の使用の可能性がある建築物の解体、改造、補修工事は全国的に増加し、平成40（2028）年頃にピークを迎えると予想されています。

（5）一次健診と二次健診が同じ医療機関で行なわれている。今後の課題としてセカンドオピニオンを考察するならば、二次健診は別の医療機関という選択もあるのではないか。

（回答）

二次健診は、一次健診に加えて詳細な項目を検査することによって、より正確に診断するために実施しています。二次健診の結果でさらに受診が必要と判断された場合には、職員が選択した医療機関を受診している。セカンドオピニオンを受けたい場合にも、同様としています。

定期健康診断の二次健診は、一次健診当日の血圧や問診等から、医師の指示により当日に実施しており、胸部レントゲン検査と胃・大腸がん検診の二次検診についてのみ、後日、検査設備のある委託先の医療施設で実施しています。

胸部レントゲン検査と胃・大腸がん検診の二次検診については、一次検診の所見を踏まえてより正確な検査ができることと、検診の精度管理に必要となる二次検診の結果を正確に把握できることから、同じ医療機関で実施しているが、職員の希望で別の医療機関で受けることも可能です。（その場合は自己負担になります。）

（過去に、二次検診の場所が遠いという職員の意見から、二次検診のみを近隣の医療機関に委託することを検討したが、医療機関から二次検診単独の受入れはしていないと言われたことがありました。）

8 小平市子ども広場事業業務委託について

(1) 本プロポーザルに参加した事業者は1者のみか。

(回答)

平成29年度は、1者のみの参加でありました。

【参考①】 プロポーザル参加事業者

平成23年度 1者 社会福祉法人小平市社会福祉協議会

平成26年度 2者 社会福祉法人小平市社会福祉協議会 (選定)

特定非営利活動法人ワーカーズコープ

(2) 社会福祉協議会には、すでに運営に関する人件費補助を市は行っているが、この経費と本契約における事業費は団体内で明確に区分けできているか。なお、本事業に人件費補助の職員が加わらないよう指導すべきである。でなければ民間事業者と平等な価格競争が確保できない。

(回答) ⇒子育て支援課

子ども広場の職員は、同広場専従のスタッフであることから、社会福祉協議会への人件費補助とは、明確に区分されているものです。

なお、社会福祉協議会等の補助団体に対する運営や管理の指導などについては、予算書などを提出させ、審査を行っている所管課で行うことが適当と思われます。

【参考②】 人件費 (平成29年度)

33,505千円

《内訳》

広場スタッフ (パート職員29名)

29,840千円

事務局職員 (嘱託職員1名、パート職員1名)

3,665千円

9 選挙投票管理システム機器購入について

(1) 本契約の使用権は小平市が取得するとあるが、これは本機器が使用できる期間と理解してよいか。したがって、機器を新しくした場合は、この限りではないのか。

(回答)

ソフトウェア・プログラム製品について使用権を取得することとしています。このため、機器入替後も継続してシステムを利用することが可能となります。

(2) 5者が入札不参加と辞退した理由は何かきいているのか。

(回答)

仕入が困難であった、見積の期間的余裕がなかったとの理由を聴取しております。

10 敬老のお祝い商品券購入(88歳、100歳への敬老のお祝い)について

(1) 本予算は、対象者全員が商品券を使用したとして計上したものか。

(回答)

本事業は、88歳の方に1万円分、100歳の方に3万円分の商品券を敬老のお祝いとして贈呈する事業です。よって、本予算は、敬老記念品贈呈対象者の方がこの商品券を使用される想定で計上しています。

(2) 本商品券を使用できる市内の商業施設は何者あるのか。

(回答)

平成29年度に贈呈したJCBギフトカードの市内利用可能店舗数は、26者31店舗になります。

11 災害救助用毛布購入について

(1) 納入場所以外の公共施設には、毛布はすでに配備されているのか。

(回答)

食料や生活必需品等の備蓄品につきましては、現在、市内9か所の備蓄庫等で集中管理しており、避難所が開設された場合など必要となった時には、ニーズを把握した上で、各避難所等に搬送し、被災者へ供給することとしております。

(2) 10者も入札辞退と不参加がでている理由は、予算が少なかったからか。また、電子入札を行うと入札辞退等が通常この程度出るのか。

(回答)

辞退理由については、商品を仕入れることが困難であった、同等品として認められなかった等であり、予定価格については、見積をとっていることから、適正なものと考えております。電子入札では、入札辞退等の数は、個々の案件の内容や入札の時期により異なります。

質問事項への回答について(池畑副委員長)

1 小平市立小平第十小学校大規模改修工事(建築工事)について

(1) 総合評価方式による落札者決定基準で、今回落札した事業者が決定されていますが、総合点に相当点数のひらきがあります。特に技術点で3倍以上の差が生じていますが、この評価方式は、最初から同じ方法で審査していますか。途中で契約内容の変更した場合には、その時期についても教えてください。

(回答)

価格点に比べて、技術点で差がついておりますが、技術点における「企業の信頼性・社会性」の評価で1位と5位の事業者の点差が3倍以上開いており、地域密着度、社会貢献及び地域貢献で事業者の取り組みに差が出た結果と考えております。

(2) 工期延長願いが提出されていますがそれに伴う工事請負金額の改定はありましたか。追加工事は頻繁に発生することなのか説明してください。

(回答)

契約図書と現場とで異なる箇所については、工事請負金額の改定を行っております。

今回のような既存建物の改修工事においては、設計段階において、しゅん工図及び現地の調査結果を工事発注図に反映しておりますが、埋設されている部分についての詳細な状況まで把握することが困難なため、工事段階で既存物の撤去を行いながら、その都度施工事業者と協議し進めていくことがございます。

2 小平市立小平第五小学校他2校屋内運動場スロープ設置工事について

(1) 7件の事業者が入札申込をしているが金額的にばらつきがあり、予定価格の76.75%と低額で落札されている。トータルで契約されているが3校とも同一工事・同額の契約でしょうか説明してください。

(回答)

3校ともに屋外から屋内運動場の出入口までの段差解消としてスロープを設置する工事ですが、スロープを設置する位置の既存状況が各校で異なる為、既存物の除去や改修内容により各校で金額が異なっております。

(2) アスベスト浮遊測定を実施されていますが、小平市内の小・中学校でどのくらい測定を実施しているか、説明してください。

(回答)

アスベスト浮遊測定は工事完了時には実施いたしますが、工事以外では実施しておりません。

3 小平市立小平第三小学校校庭拡張に伴う外構整備工事について

(1) 一般競争入札による応募が4件あったが最終的に落札率99.47%の事業者と契約している。予定価格とほぼ満額の事業者と締結しているが他の3者は辞退している。分かる範囲で辞退理由について教えてください。当初の価格設定は適正であったのかについても併せて教えてください。

(回答)

技術評価資料の提出はあったものの、特に理由がなく辞退した事業者が2者、技術評価資料の提出もなく、都合により辞退した事業者が1者となっております。

当初の価格設定については、積算基準及び見積り等を採用して適正な設計金額を算出しています。

(2) 工事期間が8ヶ月に及んでいるが工事は通常このくらいかかるのですか。樹木の植栽について桜は植栽されましたか。

(回答)

工期については、準備期間を2カ月、本工事期間を5カ月、片付け期間を1カ月設定しています。

樹木の植栽に関しては、桜ではなくハナミズキを植栽します。

4 小平市立小・中学校中継警備業務委託について

(1) 長期継続契約となっているが指名事業者は過去にも小平で同様の警備業務を行っていましたか。

(回答)

当該指名事業者は、過去にも本業務の受託実績があります。

(2) 業務委託完了報告書の様式については、添付されている形式以外に、各学校によっては独自の報告様式がありますか。

(回答)

当該指名事業者へ契約時に報告書の形式を渡しており、学校独自の報告様式

は使用していません。

5 小平市立公園便所清掃業務委託について

(1) 今回落札した事業者は過去において市内工事をどのくらい請負っていますか。

(回答)

落札した事業者は、東京電子自治体共同運営の工事の資格に業種登録がないため、工事は請け負っておりません。

(2) 公園の清掃は誰でも利用できるのですが、原則週3回で清潔さは保てるのかについて教えてください。

(回答)

公園のトイレ施設は全て屋外に独立して設置されており、施設周囲の地盤が土や砂であることから砂塵の侵入が多く、また、土足で直接施設内に入ることから床面等が汚れやすい状況にあるが、週3回の清掃でおおむね便器等設備の清潔さは保たれていると認識しております。なお、使用頻度の高い2公園については毎日清掃を行い清潔さを保っております。

6 小平市子ども広場事業業務委託について

(1) 3年間の長期計画で情操教育を養うため、プロポーザルで小平市の社協と契約されているが、決め手となった特徴的な業務内容について教えてください。

(回答)

プロポーザルに参加したのは、社会福祉法人小平市社会福祉協議会のみであったため、事業者の優劣ではなく、事業運営者としての適格性に重きを置いた審査となりました。その中で、プロポーザル審査委員会においては、見積額や乳幼児・小中学生向けの事業展開が多彩であったことなどが高評価につながったと考えております。

【参考③】子ども広場事業の拡充

平成17年度 小川東町地域センター、さわやか館にて開設

平成18年度 中島地域センターにて開設

平成22年度 上水本町地域センター、天神地域センター、大沼地域センターにて開設

7 敬老のお祝い商品券購入(88歳、100歳への敬老のお祝い)について

(1) 6者の指名競争入札になっているが3者辞退している。その理由について分かる範囲で教えてください。

(回答)

取扱いがなかったとの理由を聴取しております。

(2) 商品券を長寿のお祝いとして贈呈しているが、過去5年以内はいつも商品券をお渡ししていますか。

(回答) ⇒高齢者支援課

平成22年度から敬老記念品として商品券を贈呈しております。

平成22・23・26・28・29年度は「JCBギフトカード」、平成24・25年度は「全国百貨店共通商品券」、平成27年度のみ「小平ベリー商品券(地域振興券)」を贈呈しました。

8 証明書自動交付機賃貸借について

(1) 57ヶ月(4年9ヶ月)のリース契約となっておりますが、設置された場所の機種はメーカー生産が9月末終了となっております。この機種にこだわった理由がありますか。

(回答)

証明書自動交付機の更改については、住民情報システム再構築に伴い実施されたプロポーザルにおいて最優秀提案事業者に決定しました株式会社日立システムズにより構築が行われます。このため、当該事業者の提案の前提となる機器でなければ業務運用を行うことができないためです。

(2) 自動交付機の利用率は全発行証明書に対しどのくらいですか。

(回答)

証明書自動交付機から発行できる証明書は、「印鑑登録証明書」・「住民票の写し」・「戸籍全部(個人)事項証明」です。平成28年度のこれらの証明の総発行件数は、203,320件で、うち自動交付機発行件数は94,245件であり、交付機発行割合は46.4パーセントです。

質問事項への回答について(木内委員)

1 小平市立学校施設清掃等業務委託について

(1) 業務委託契約書の中に、業務委託仕様書(その1)と業務委託仕様書(その2)が綴られているようですが、(その1)と(その2)の違いはどこにあるのか、内容の共通する部分が多いが二つの仕様書を付けている理由はなぜですか。

(回答)

仕様書その1は、常駐する用務員の業務内容を定めたものです。

常駐用務員は通常1名ですが、雑草が伸びる時期、落ち葉の時期等の繁忙期には、仕様書に定めた日数について、応援用務員を増配できるようにしております。仕様書その2は、応援用務員の業務内容を定めたものです。両者の業務内容は重複しておりますので、同じような仕様書内容となっております。

2 天神町四丁目31～35番先雨水管渠築造工事について

(1) 入札結果報告書の支払条件欄に、前払金、中間前払金、部分払(2回)、しゅん功払の記載がありますが、これらの金額は予め決まっているのですか。どのように決めるのでしょうか。

(回答)

市の契約事務規則、取扱要綱で、前払金については、契約金額の4割(土木工事、建築工事及び設備工事以外の工事については3割)を超えない範囲内で、6,000万円を限度として、工事の着工にあたり支払うもの、中間前払金については、前払金をした工事について、契約金額の2割を超えない範囲内で、3,000万円を限度として、既にした前払金に追加して支払うもの、部分払については、工事の既済部分の対し、工事のしゅん功前に契約金額の一部を支払うものであり、部分払は、契約金額に応じて部分払の回数が決まっております。

(2) 落札者決定基準に定められている企業の技術力評価のための企業の施工能力中の工事成績(工事成績最高点)はどうやって決めているのですか。

(回答)

小平市が発注した工事の成績を評価する項目として、今回の案件については、類似工事として、市が発注した下水道施設工事の成績を評価しております。工事成績については、市の監督員と検査員で工事の基本的な技術力と成果等を評価し点数化しております。

3 小平市立小平第十小学校大規模改修工事(建築工事)について

(1) 工期が二か月延長されており、その理由としてパイプスペース部分のスラブ解体及び新設が必要となったとありますが、これにより契約金額を増額する必要はなかったのでしょうか。

(回答)

パイプスペース部分のスラブ解体及び新設については、その他の変更内容を含めて設計変更を行い、契約金額を変更しております。

4 小平市道第C-48号線外道路補修工事について

(1) 市道の補修工事は、補修の必要性等を勘案し優先順位の高いものから毎年の予算の範囲内で順次進めているものと思われませんが、いつ、どの市道を補修するのかは、どこまで決まっているのでしょうか。また、どのように決めているのでしょうか。長期的な計画はあるのでしょうか。

(回答)

補修工事の事業計画については、5年分を作成策定しています。この計画は、毎年、舗装の損傷状況の変化等を捉えながら必要に応じて見直しを行うこととしています。補修工事の実施路線については、平成28年度に策定した「小平市道路舗装維持管理基本方針」に基づき、損傷状況(ひび割れ)、空洞化調査及び橋りょう点検の結果等により評価し、決定しています。

5 小平市立小平第三小学校校庭拡張に伴う外構整備工事について

(1) 平成27年度に拡張用地を購入していますが、もともと第三小学校のグラウンドが他と比べて狭かったということでしょうか。グラウンドの広さについて何か基準はありますか。

(回答)

小学校の運動場の面積については、小学校設置基準により、児童一人当たり10㎡と定められております。第三小学校は児童一人当たり運動場面積が小平市内の公立小学校全19校のなかでもっとも少なく、かつ児童一人当たりの運動場面積が10㎡を下回っていたため、購入することとしたものです。

6 小平市立小平第五小学校他2校屋内運動場スロープ設置工事について

(1) 本件では落札金額が予定価格の76.75%となっています。入札に参加した7事業者中の最高入札金額でも予定価格の82.72%です。予定価格が高すぎるように思います。適正に算定されているのでしょうか。

(回答)

本工事は、東京都市建設行政協議会発行の積算基準に基づき積算しております。

す。

なお、平成28年度に同様の積算方法で発注しております小平市立小平第十五小学校及び小平第四中学校屋内運動場スロープ設置工事では、落札率が93.5%となっていることから、本工事の積算については適正であると考えます。

7 小平市立上宿小学童クラブ第二新築工事について

(1) 本件は希望確認型指名競争入札となっています。一般の指名競争入札とどう違うのですか。また請負金額が5,000万円を超えているのに総合評価方式を採用しないのはなぜですか。

(回答)

希望確認型指名競争入札は、工事概要、参加資格、申請方法等を事前に提示し、入札を希望してきた事業者の中から指名する方式であります。

総合評価方式の対象工事は、土木工事及び建築工事であり、当該工事は、鉄骨プレハブ工事として発注しており、対象としておりません。

8 小平市立小・中学校中継警備業務委託について

(1) 開札結果登録をみると、本件では落札事業者が予定価格と同じ金額で落札しています。予定価格は予め公表されていたのでしょうか。また、指名業者選考結果報告書の入札方法に随意契約と記載されているのはなぜでしょうか。

(回答)

予定価格については、公表しておりません。価格による入札で落札事業者を決定しましたので、結果として同額になったと考えております。

また、指名業者選定結果報告書の記載について、随意契約は誤りであり、正しくは希望制指名競争入札となります。

9 小平市立小平第二小学校給食調理業務委託について

(1) 開札結果登録を見ると落札事業者が予定価格で落札したように見えます。入札に参加した事業者は1者だけだったのでしょうか。

(回答)

プロポーザル方式で受託者を特定（契約交渉順位第1位）した上で、受託者と正式に契約した結果であり、価格については既にプロポーザル方式で選定する際に、提案を受けて評価しており、契約の際に価格について変動がなかったことによります。

10 災害救助用毛布購入について

(1) 希望指名競争入札により最低価格で入札した事業者が落札していますが、予定価格は公表されていたのでしょうか。

(回答)

予定価格については、公表しておりません。